

心アミロイドーシスにおける CT を用いた心筋細胞外容積定量化の臨床導入に向けた検討



熊本大学病院
画像診断・治療科
診療助手 林 英孝

この度は肥後医育振興会医学研究助成金を賜り、誠にありがとうございます。選考委員の先生方、関係者の皆様、ご指導いただきました先生方に深く御礼申し上げます。

私は画像診断・治療科に所属し、心血管領域の CT・MRI の臨床及び研究に従事しております。心アミロイドーシス診療において心臓 MRI で算出される細胞外容積分画 (ECV) は診断のみならず重症度評価や予後予測、病勢モニターとして有用性が確立されています。一方、MRI は埋め込みデバイス患者や高度腎機能障害患者では撮影が困難であり、検査数の限界、検査時間や息止めも長く利便性の点に課題がありました。近年、利便性の高い CT でも ECV の算出が可能となってきましたが、心アミロイドーシスにおいて CT で算出される ECV の妥当性、有用性は十分に検証されていません。本研究で明らかにすることで、心アミロイドーシス診療における CT-ECV の普及に繋がることを期待しております。

若手研究者の登竜門といわれる本助成を賜り大変光栄です。これを励みに本研究、今後の研究を発展できるように精進して参ります。この度は誠にありがとうございました。

高齢マウスの脳内遺伝子解析に基づく神経修復メカニズムの解明



熊本保健科学大学保健科学部
リハビリテーション学科
講師 田中 貴士

この度は、肥後医育振興会医学研究助成金ならびに学術奨励賞を賜り、誠にありがとうございます。選考委員の先生方や関係者の皆様、ご推薦頂きました熊本

保健科学大学・学長の竹屋元裕教授に心より御礼申し上げます。

私は熊本保健科学大学リハビリテーション学科にて、理学療法教育とともに、老化した神経回路の再編と修復を誘導するメカニズムの解明に取り組んでおります。我が国では高齢化が急速に進んでいますが、高齢な脳損傷モデル動物の研究はほとんど進んでおらず、有用な治療法が存在しません。我々は、高齢な脳損傷モデルマウスでは機能回復に重要な神経発芽が生じない一方、自発的運動が脳内遺伝子を若返らせ、神経修復を促すことを見出してきました。本研究では、運動誘発性の遺伝子を培養神経や高齢マウスの生体内で操作・解析することで、脳損傷後の効果的な機能回復につなげたいと考えております。

本研究助成や受賞を励みに、熊本から世界の健康増進に貢献できるよう日々精進して参ります。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和5年度 外国人留学生奨学金受賞者



熊本大学大学院医学教育部
博士課程1年（消化器外科学）
張 衛麗雲

私は熊本大学大学院医学教育部博士課程消化器外科学講座に所属する張衛麗雲です。今年度の肥厚医育振興会の奨学金を受けることができて光栄です。この栄誉を与えてくださった先生方、関係者の皆様、そして推薦して下さった馬場教授に心から感謝申し上げます。

現在は胃癌の化学療法薬に対して薬剤耐性メカニズムについて研究を行っています。化学療法は胃癌の治療において手術に次いで重要な手段です。しかし、胃癌細胞は抗がん剤に対する多剤耐性を持っているため、化学療法の有効性は限られています。近年、がん治療において、HER-2などを標的とした分子標的治療薬が開発、臨床応用され始めています。抗がん剤や分子標的薬に対する胃癌の抵抗性を明らかにする